

2017年度の上半期(4~9月)の 経営状況と下期課題



第18回理事会 (2017年11月11日)

厚生協会だより

2017年11月21日
第 346 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：平賀 秀法



専務理事
平賀 秀法

全職員の英知を結
集し、個々の目標に向
かって構造転換を進
めていきましょう！

はじめに

「わたしたちは今どんな
状況に置かれているか

国は、高齢者を対象とした現在の地域包括ケアを、障害者、子育て、経済困難などを含めて重層化した生活課題に対応する「地域包括ケアシステム」に転換させるとしています。地域包括ケアシステムの実態は、対象を高齢者以外にも広げ「全世代・全対象」

に拡大し、「我が事、丸ごと」の名の下に、地域住民に丸投げするものです。

経済財政諮問会議では「都道府県の総合的なガバナンスを強化し、高齢化による医療費・介護費の伸びを抑制する」との基本的な考えを示し、社会保障費の自然増を三年連続で1,300億円削減するとしています。

超高齢社会の到来と疾病動向の変化により、自ずと医療・介護ニーズの変化が起こります。現在の医療提供体制の再編は避けて通れない課題であり、事業所としての「生き残り」だけではなく、人権を守るといった視点で挑戦しなければなりません。

全日本民医連の経済的事由による手遅れ死亡事例調査では、毎年50人以上が亡くなっています。これは氷山の一角であり、経済的理由で受診が遅れ手遅れになる患者さんなど、格差と貧困が生み出す困難患者をどう救い上げるのか、こういった問題に向き合い、ニーズを掘り起こし、患者になれない住民に、民医連の医療と介護を届け続けるた

めに私たちがどういうアプローチを行うかが問われています。事業所の外に出て、様々な問題に目を向ける活動が重要です。

2017年度上期決算の特徴

事業収益は79億8千万円となり予算に25百万円届いていません。外来と介護収益の未達が影響しています。入院収益は予算を76百万円超過していますが、事業所別に見れば坂総合病院が1億1千万円超過したことによるもので、長町病院、古川民生病院、泉病院は、予算比・前年比でいずれも横ばいから未達の状況です。外来収益は一貫して減少傾向にあり早急な対応が求められます。

事業費用は78億円と予算を1億3千万円下回っています。しかし、人件費と委託費は予算を下回っているものの、材料費や経費が超過していることは重く受け止めなければなりません。当期利益は2億1千万円、予算を1億2千万円上回り、期末資金残高は2億5千万円ほど増加しています。

下期に向けた視点

2018年度は、診療報酬・介護報酬同時改定と地域医療構想・地域医療計画、介護保険事業計画、都道府県単位の医療費抑制化計画が同時並行で進められます。自然増さえ削減をはかる社会保障解体政策の下で、収益を増やすことは容易ではありません。地域のニーズに応えることを通して、患者・利用者増につなげていく「戦略的な」取り組みを進めることが求められています。患者利用者の追い出しをはかる誘導策とたたかいながら、医療と介護の質の向上という側面から収益増に結びつける取り組みに挑戦しなければなりません。

私たちの目標は、医療・介護の切り捨てに對して、患者・地域住民と共同してたたかうとともに、それぞれのポジショニングを見直し、医療・介護活動を活性化させ経営を安定させ強化していくことです。高齢者に対する医療・介護サービスの提供を重視し、経営改善と一体のものとしてその質を高めていくことが重

要です。

目標に向かうための 管理者の視点

一般的に管理者の役割は、第1に後継者の育成、第2にビジョンと中長期の展望づくり、第3に意思決定と組織目標を達成するための管理と言われます。職員の力を引き出すマネジメント力を高め、法人が掲げる理念と直面する課題について、情勢を読み解き、わかりやすく職員に伝え、必要な行動を組織するという原点に立ち返って、意識的な職場づくりと職責者の養成、職員の成長ややりがいを高めていくことです。

事業運営の視点

それぞれの事業所が、医療・介護活動の実際と到達点、地域分析を進め、自分たちの医療・介護活動の実際を客観的に把握する必要があります。

その際には地域医療計画で求められる5疾患5事業、在宅医療への対応などの視点から、事業所の機能、担う役割などを明確にし、外来、入院、在宅、保健予防、介護、総合

事業、住まいの課題の全ての分野で検討していくこととなります。入院機能は、病床毎のデータを明確にし、疾患構成、日当点、手術件数やリハビリ実施数等から、どの機能の病床に該当するのか客観的に評価することになります。無差別・平等の地域包括ケアを地域で進めて行く視点で、地域包括ケア病床をどう活かせるか、どう位置づけるかなど、思い切った病床転換と今後の病床規制の動きを見据えた選択を戦略的に立てることになります。

上半期の経営成績

(単位：百万円)

	累計実績	予算	増減額	前年度実績	増減額
【事業収益】	7982	8007	▲ 25	7820	162
入院収益	4627	4551	76	4385	242
外来収益	2187	2249	▲ 62	2236	▲ 49
介護収益	767	784	▲ 17	785	▲ 18
【事業費用】	7795	7920	▲ 125	7901	▲ 106
人件費	5064	5168	▲ 104	5111	▲ 47
材料費	891	881	10	894	▲ 3
委託費	609	653	▲ 44	633	▲ 24
経費	714	699	15	712	2
減価償却費	310	310	0	351	▲ 41
消費税	179	179	0	172	7
〔事業利益〕	188	87	101	▲ 80	268
〔経常利益〕	209	86	123	▲ 80	289
〔当期純利益〕	208	86	122	▲ 133	341

事業所別損益(2017年4月～9月)

(単位：百万円)

	事業収益			事業費用			経常利益		
	実績	予算	増減	実績	予算	増減	実績	予算	増減
坂合計	4494	4459	35	4334	4354	▲ 20	162	89	73
長町合計	1265	1272	▲ 7	1205	1248	▲ 43	53	14	39
古川	509	538	▲ 29	539	542	▲ 3	▲ 19	5	▲ 24
泉	750	779	▲ 29	734	773	▲ 39	13	4	9
診療所合計	319	326	▲ 7	319	335	▲ 16	0	▲ 8	8
歯科計	163	158	5	151	153	▲ 2	14	5	9
ケアST計	475	470	5	462	459	3	14	10	4
南光台包括	6	6	0	22	22	0	0	▲ 3	3
事務局				28	34	▲ 6	▲ 28	▲ 29	1

2018年度 予算編成に向けた視点

2017年度以降の借入金返済額は5～6億円程度の水増しで推移します。通常設備投資は3億円前後が必要ですが、資金源となる8～9億円は減価償却費(6億円)と当期利益(2～3億円)で確保することになります。これ

に通常設備投資以外のシステム更新や大型設備投資(リニューアル等)のための自己資金として、最低1～2億円の上乗せが必要です。よって、今後の経常利益目標は毎年5億円を目指すこととなります。

患者の減少傾向や診療報酬の実質的な引き下げなどの環境のもとでは、収益増だけで経営を改善することは困難です。人件費、医薬品費、材料費、委託料、経費など、あらゆる費用の見直しとコントロールが不可欠です。この目標に向かつて構造転換を進めていかなければなりません。全職員の英知を結集し全力で取り組みましょう。

第39回みやぎ東部健康福祉友の会

陽射しがまぶしい秋晴れの下で開催されました。今年は坂総合病院、クリニック1号館を会場

9月10日
859名

かわいいチアダンス



大盛況の健康相談コーナー

に開催され859名の参加者で賑わいました。駐車場のトラックステージを用いた中央ステージは、金管楽器演奏、民謡、チアダンスなどがまつりを盛り上げ、会場の都合で例年より縮小せざるを得なかった模擬店やフリーマーケットも大盛況。病院では健康チェックやちびっこ広場、こども薬剤師体験、そして今回の目玉企画である4人の医師（盛口佳宏医師、松田好郎医師）による片平敦子医師、松田好郎医師）によるリレー講演が行われ、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。友の会各サークルや病院患者会の紹介展示や体験コーナー、運動療法施設「のびのび」の体験も行われました。

友の会

健康まつり

各地域で大盛況！

第26回仙台南健康友の会

長町4丁目蛸薬師境内などを会場に開催され、1000名を超える参加者でにぎわいました。ステージは恒例の長

9月17日
1000名超

町中学校プラスバンド部の演奏で始まり、腹話術やマジック、サークルやブロックなどのバラエティあふれる出し物が続きました。ブロックの出し物はコンテスト形式。4つのブロックが熱演し、「豪華絢爛で賞」などの賞が贈られました。子どもコーナーや健康相談コーナーにもたくさんの来場者が。フィナーレはチアリーディングサークル・クラップス。雨の中でしたが元気な子どもたちのダンスと掛け声に、会場が拍手と歓声で一体となって終了しました。台風接近で開催は当日朝ギリギリの判断となりました。しかし、予想以上に多くの方に足をお運びいただきホッとしております。



にぎわう出店コーナー



フィナーレはチアリーディング

30回大崎健康福祉友の会古川支部

病院駐車場で開催。晴天にも恵まれ、1000名を超える参加者を迎えました。メインゲストとして、シン

10月1日
1000名超

ガーソングライターの「きたがわてつ」さんが平和を中心とした歌とトークで会場を魅了しました。舞台では、オープニングを飾った古二小の子どもたちによる二小ソーランやゆいまーる宮城エイサー会による歌と踊りで大いに盛り上がりしました。第二部の演芸発表では会員、職員による唄、踊りなど、参加者も一緒になって楽しみました。無料体験コーナーの頸動脈エコー、骨密度測定、自己血糖測定、簡易物忘れ度チェックも盛況でした。ちびっこ薬剤師体験やちびっこ広場には、家族での来場者も目立ちました。絵手紙、健康吹き矢、ハンドマツサージも好評。友の会バザーや模擬店も賑わいました。



きたがわてつさんの平和のうたごえ



ゆいまーる宮城エイサー会の演奏

第18回大崎健康福祉友の会加美支部

やくらい文化センターで開催し450名が参加。記念講演は3・11震災時に南三陸町の方たちが中新田交流センターに避難し、その後南三陸の語り部として活動している後藤一磨さんに「東日本大震災が教えてくれたもの」と題して話していただきました。友の会も「お茶っこ飲み会」で開まりました。特別出演は、凌雲演舞太鼓の皆さんによる「すずめ踊り」、声楽家(オペラ歌手)喜久間あやさんの歌は会場を魅了しました。第2部は、広原小学校金管バンドのマーチングで華やかに幕を開けました。会員によるお楽しみ発表会は、歌も踊りもプロ顔負けの出来栄で、文化水準の高さに会場から拍手喝采が。「いがつた! いがつた!」参加者の皆さんの顔が生き生きと輝き、満足しながら帰路につきました。



語り部の後藤一磨さんの講演

10月8日
450名超

第12回大崎健康福祉友の会遠田支部

本小牛田コミュニティセンターに400名が集い開催しました。記念講演は「認知症の理解と予防」と題して、坂総合病院認知症認定看護師阿部育実さんに話

10月15日
400名



金管バンドのマーチング

第23回錦町診療所健康友の会

診療所近くのパレス宮城野会館で、約100名が参加し開催されました。第1部は、所長の斎藤慶史先生が「腎臓について」のテーマで講演。カリウムの話では、多くの質問があり、関心の深さがうかがわれました。センター長の広瀬先生は、石炭火力の仙台市の現状のお話をしました。休憩時間は、各コーナー巡りの時間で、健康コーナーでは、血管年齢測定や脳機能検査が好評。友の会コーナーでは、3人の新会員さんを迎えました。作品展示コーナーでは、力作の手作り品、絵手紙、野菜、草鞋、また鉱石、甲冑が飾られました。第2部は演芸大会で、お琴、歌謡曲とフラダンス、オカリナ演奏、太極拳、クラリネット演奏で大変盛り上がり、参加者全員による合唱で締められました。大抽選会では、たくさんの商品で盛り上がりました。



会場風景



来賓ごあいさつ

10月14日
約100名

第16回若林健康友の会

若林区の六郷市民センターで開催。オープニングは地元の小学生のチアガール、切れのいい元気いっぱい

10月15日
374名

の踊り。舞台では、サークル発表、生き生き教室の方々の手話と歌、脳トレ、太極拳など。ひ孫からおっぴさんまで、家族全員参加の舞台は、ほのぼのとし笑いが溢れていました。健康コーナーは、骨密度測定、健康相談、子どもたちの薬剤師体験、ハンドマッサージ。初めての試みで「ゆったりサロンコーナー」も。手芸教室など約10のサークルを水戸部先生自作のスライ





盛り上がる会場



中野神楽の舞

に伝授された。明治5年、佐竹幸吉が中野神楽初代として創立し、現在の代表は佐竹正義です。

賀茂神社大駐車場で開催されました。当日は台風の接近で雨となり長命太鼓、泉館山高校吹奏楽部の演奏は中止となりました。中央ステージのプログラムを変更、予定通り10時開会、予定より早めに閉会しました。雨の中、700名を超える人が参加してくれました。写真で健康まつりの様子を紹介します。中野神楽(栗原市指定無形民俗文化財)岩手県一関の山谷神楽を習得した者が農業の手伝いで中野地区に来ていた時

10月22日
700名超

第21回泉病院友の会

チェックコーナーも大盛況でした。展示コーナーも素晴らしい作品に彩られ、多くの方が見入っていました。来年も元気で会いましょう。

阿部育実さんが
記念講演



全員で指の体操

10月22日(日) 台風の影響で雨模様なのなか、約250人の方々に参加して頂きました。恒例のなにげりや豚汁も美味しく、今年は玉こんにゃくやがんづきの販売も行ない、完売となりました。唄や踊り、職員の出し物など演芸も皆さんに楽しんでいただけたと思います。また、10月から赴任した中澤事務長には『頸動脈エコー』を担当してもらい、約50人の方に体験して頂き好評でした。お天気が良かったら...とも思いましたが、無事に開催することができて安心しました。



文字甚句の踊り



合唱で盛り上がる

くろはら健康福祉友の会

10月22日
約250名

ドと模造紙で紹介、「やってみたいな」という声も聞かれました。恒例の無料激うまトン汁は今年も大好評。2年ぶりに出演の、地元東高校の吹奏楽部45名の演奏は若いエネルギーでいっぱいでした。最後の「お楽しみ抽選会」は地元の新米2kgや若林クリニック賞、つばさ薬局賞。あちこちで歓声があがりました。

オープニングは小学生のチアガール



生き生き教室のみなさん

さわやか **エッセイ**

自分のペースで体を動かすことを続けたい

ケアステーションしおかぜ 永井 知枝



ケアステーションスタッフ

まず、シューズとウェアを買い、やらないといけないう状況にして近くの小学校の校庭を1周してみました。100mもないのに息が上がり足はガクガクするし、こんなに走られなくなったのかとショックでした。

松島ハーフマラソン・復興マラソンを完走、ハーフマラソンにも挑戦予定

目的もなくただ走るのは長続きしないので、走られないくせに松島ハーフマラソンの5kmの部にエントリーし、そこから、2、3日おきに走る距離を少しずつ延ばし3ヶ月半後のマラソン大会では時間内に完走することができました。

以前は「走る人の気が知れない、苦しいのに何が楽しいんだろう」と思っていたのですが完走すると達成感があり、次はもう少し長い距離に挑戦しようと欲が出てきます。

また、街並みや季節の移り変わりを感じることも魅力かも知れません。

最近では復興マラソンの6kmに参加し完走できました。

復興マラソンではおじいちゃん、おばあちゃんが縁石に腰掛け手を振ってくれたり、近所の方々とタッチしたり、たくさんの方が応援してくれました。

大人になり年を重ねると応援してもらうことは少なくなる気がします。「応援してもらうっていいかも」と思いました。私も何かに一所懸命に取り組んでいる人に対して声を出して応援したいなと感じました。



筋トレ中のスタッフ

職場では男子職員はマッスルクラブ（私が勝手にそう呼んでいる）で昼休みに筋トレをしており、マラソン大会に参加する人もいます。もう少しすると職場でラジオ体操も始まります。来年は、ハーフマラソンに挑戦する予定です。

ストレス解消になるように自分のペースで体を動かすことを続けていけたらと思っています。